



エコアクション21  
環境経営レポート  
(対象期間:2020年1月~2020年12月)



2021年4月5日発行  
三英電設株式会社

# ＜環境経営方針＞

三英電設株式会社は、情報通信インフラ構築のプロ集団として、情報通信インフラの設計から工事、保守に至るまでのサービスを提供しています。

理念である①安全の確保、②品質の向上、③技術の習得を愚直に取り組み、さらなる成長と発展を期するとともに、社員が一丸となり、環境負荷の低減、循環型社会構築の推進により、地域の環境保全に貢献する企業を目指します。

## 【行動指針】

- 1) 「5S活動」の推進により、職場、作業現場の状態を明確にし、環境の保全に努めます。
- 2) 省資源、省エネ、節水を推進し、廃棄物、二酸化炭素、下水の排出量削減に努めます。
- 3) エコドライブを推進し、大気汚染の抑制に努めます。
- 4) 建設資材、事務用品のグリーン購入を推進します。  
また、不要不急の購入が無いように、適正管理に努めます。
- 5) 廃棄物の分別、作業現場での残材・撤去物等の適正処理を徹底します。
- 6) 環境関連法規を遵守します。
- 7) 環境目標・活動計画を定め、定期的に活動状況・達成状況を確認し、是正・見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2017年 11月 1日制定

2020年 4月 1日改訂

代表取締役

上條 昇一

## I. 組織の概要

1. 事業所名  
三英電設株式会社
2. 代表者氏名  
代表取締役 上條 昇一
3. 事業所所在地  
本 社 : 東京都八王子市千人町3-2-17  
八王子技術センター: 東京都八王子市千人町3-33-9
4. 環境管理責任者  
佐藤 清治(総括部長)  
連絡先 TEL: 042-661-5997 E-Mail: [satoh-sei@sanei-densetu.com](mailto:satoh-sei@sanei-densetu.com)
5. 事業の規模  
資本金: 3,000万円  
従業員数 本社: 6名 八王子技術センター: 18名 (全従業員数: 62名)  
延床面積: 本社事務所: 129㎡  
八王子技術センター事務所: 143㎡ 駐車場・倉庫: 383㎡  
敷地面積 652㎡  
保有車両 高所作業車: 3台、トラック: 1台、ワゴン: 1台、バン: 2台、軽ライトバン: 6台
6. 事業活動の内容  
電気通信工事業、電気工事業、人材派遣業、警備事業
7. 事業許可の内容
  - ・一般建設業【電気通信工事業】(昭和46年10月21日許可)  
東京都知事許可(般-28)第30858号 平成28年4月5日～令和3年4月4日
  - ・一般建設業【電気工事業】(平成28年11月15日許可)  
東京都知事許可(般-28)第30858号 平成28年11月15日～令和3年11月14日
  - ・警備業(平成21年6月16日認定)  
東京都公安委員会 第30003465号 令和1年6月16日～令和6年6月15日
  - ・産業廃棄物収集運搬業(平成26年1月14日許可) (自社用のみ)  
東京都知事許可 第13-00-175044号 平成31年1月14日～令和6年1月13日
8. その他  
設立年月日: 1971年 7月 17日  
事業年度: 令和21年1月～令和22年12月



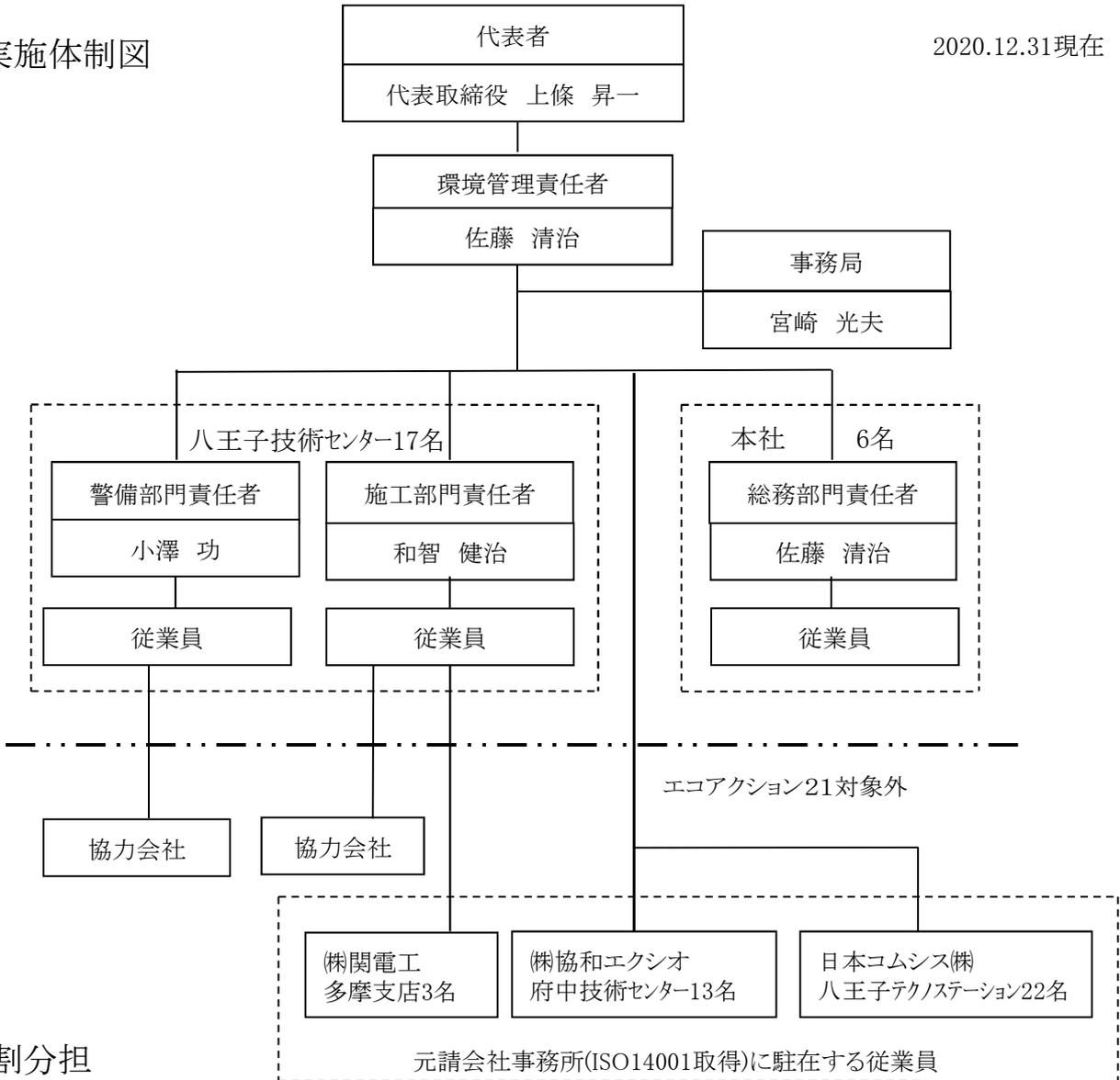
## II. 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 三英電設株式会社  
対象事業所: 本社、八王子技術センター  
活動: 電気通信及び電気の工事業、並びに警備業  
登録対象外: ISO14001を取得した元請会社の事務所に常駐する従業員の活動

### Ⅲ. 実施体制

実施体制図

2020.12.31現在



役割分担

代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営における課題とチャンス の明確化、環境経営方針・体制の承認・見直し</li> <li>活動資源(要員・設備・費用等)の用意</li> <li>環境管理責任者の任命</li> <li>環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>エコアクション21活動の計画承認と実施管理</li> <li>環境経営レポート原案の確認、補足</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>エコアクション21活動全体の計画立案</li> <li>環境への負荷・取組、関連法規の遵守のチェック</li> <li>環境経営レポート原案の作成</li> </ul>
部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>部門従業員への教育・指導</li> <li>実施状況を確認・記録し、環境管理責任者へ報告</li> </ul>
従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営方針・環境目標及び取組の重要性を理解</li> <li>行動計画に基づき、自主的、積極的に環境経営活動を実施</li> </ul>

#### IV. 環境経営目標

大項目	項目名	単位	2016年度 基準年	環境経営目標			
				2020年度	2021年度	2022年度	
(1)省エネルギー	二酸化炭素排出量の削減(適正化)	kg-CO2	52,429	52,429	52,429	52,429	
				—	—	—	
	①電力使用量の削減(1%)	kWh	25,014	24,013	23,763	23,513	
				4%	5%	6%	
	②ガソリン燃費の向上	km/l	10.7	11.0	11.1	11.2	
				3.0%	4.0%	5.0%	
事務所	(2)廃棄物削減・リサイクル促進	分別廃棄の励行(削減1%)	kg	2,814	2,701	2,673	2,645
					4%	5%	6%
	(3)節水	水消費量の削減(1%)	m <sup>3</sup>	161	155	153	151
					4%	5%	6%
(4)グリーン購入	事務用品のグリーン購入	品目	0	1	1	1	
作業現場	(5)廃棄物削減	①飲食ゴミの購入箇所での廃棄励行	励行率%	100	100	100	100
		②施工要領を遵守した工事残材の削減	遵守率%	100	100	100	100
	(6)工具類の適正管理	管理手法の順守	遵守率%	—	100	100	100
	(7)環境への配慮	作業後の清掃励行	励行率%	100	100	100	100

\* CO<sub>2</sub>実排出係数=0.500 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 東京電力エナジーパートナー(株)平成27年度実績

\* 対象となる化学物質の使用がないため、目標設定は無し

## V. 活動計画

環境経営目標	活動計画
二酸化炭素排出量の削減	排出量の把握
電力使用量の削減	不在・不要時の消灯、電源OFF PCのスリープモード設定 空調温度の適正化(冷房:26℃、暖房:20℃)
ガソリン燃費の向上	ふんわりアクセル 加減速の少ない運転 走行経路の適正化 駐車時の不要アイドリング削減
事務所廃棄物削減・リサイクルの促進	分別廃棄の励行 コピー用紙使用量の削減
水消費量の削減	節水の呼びかけ
事務用品のグリーン購入	購入時、グリーン購入法適合の有無確認
作業現場の廃棄物削減	飲食ゴミの購入箇所での廃棄励行 施工要領を遵守した工事残材削減
工具類の適正管理	現状把握 管理範囲の明確化と管理手法 管理手法導入・評価
作業現場の環境への配慮	作業後の清掃励行

## VI. 目標の達成状況と分析

2019年度は3月決算から12月決算となり、達成状況の分析については、年度比較のため、2019年1月から12月を2019年度として行いました。

### 1. 省エネルギー

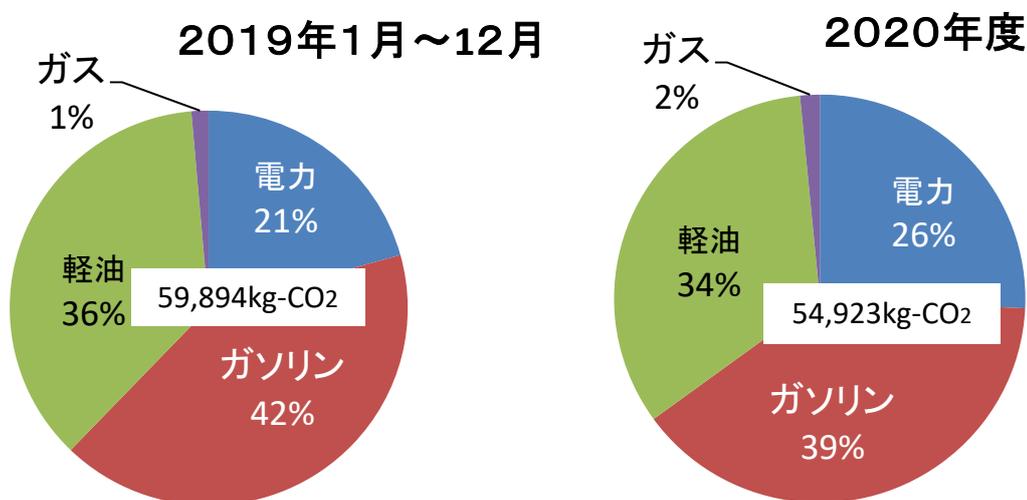
#### (1) 二酸化炭素排出量の削減

年間の二酸化炭素排出量は、前年59,894kg-CO<sub>2</sub>に対し、54,923kg-CO<sub>2</sub>と8%減となりました。これは基準年の2016年度52,429kg-CO<sub>2</sub>に近い値となりました。

前年度比較の内訳は、電力114%、ガソリン88%、軽油84%でした。電力の排出量増加は新型コロナウイルス対策の影響です。また、ガソリンの排出量減少は遠距離エリアでの作業が減少したためです。

73%を占めるガソリン・軽油の使用量は、現場作業の状況に応じ、大きく変動するので、継続して状況を把握し、適切な対応を検討してまいります。

#### 二酸化炭素排出量の内訳

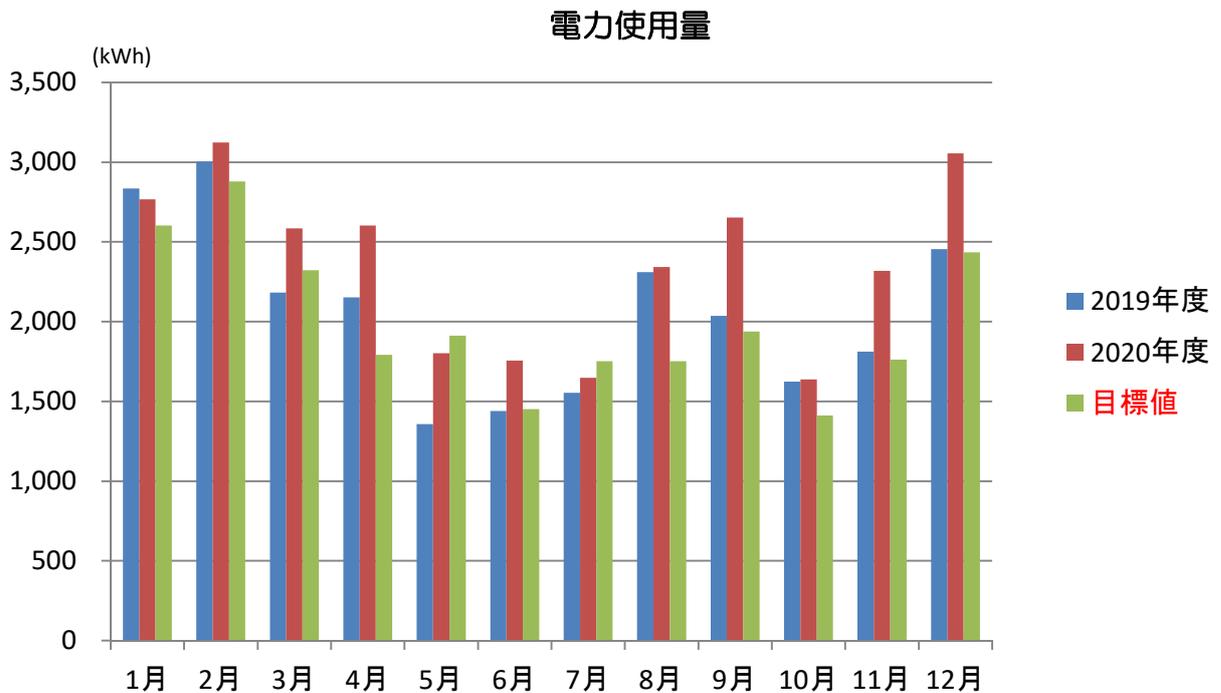


注：電力の二酸化炭素排出係数は、前年との比較のため、0.500 kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用。  
2020年度の温室効果ガス排出量算出に使用する東京電力エナジーパートナーの調整後排出係数0.442 kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用すると、14,147kg-CO<sub>2</sub>は12,506kg-CO<sub>2</sub>。  
全体の排出量は、53,282kg-CO<sub>2</sub>。

## (2) 電力使用量の削減

不在・不要時に点灯している際は、気づいた者が消灯していますが、電力使用量は、目標値24,013kWhに対し、28,293kWhと未達成でした。

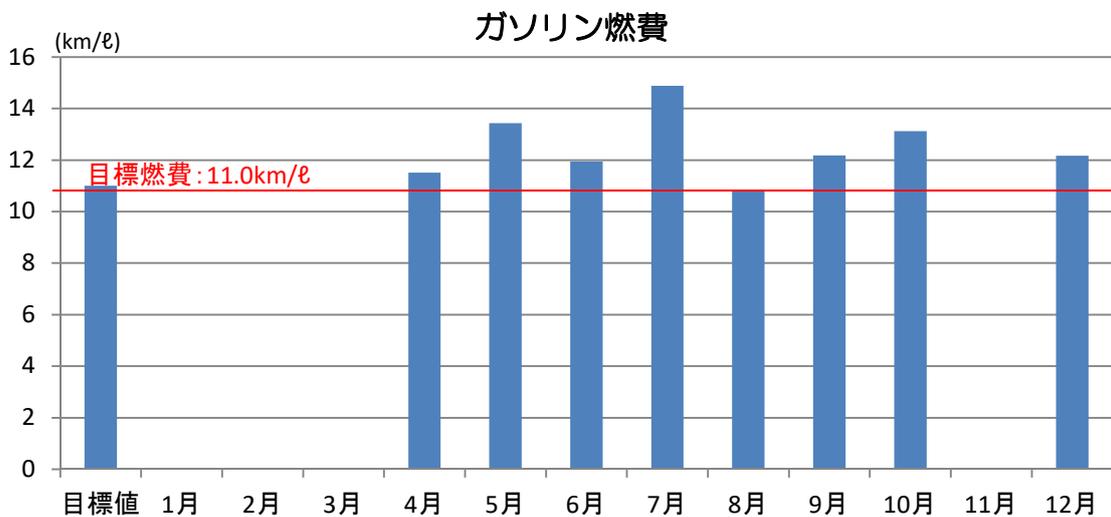
前年24,764kWhに比べ14%増加したのは、新型コロナウイルス感染防止のため、窓を開けて換気したので、冷暖房の電力使用量が増えたからです。



## (3) ガソリン燃費の向上

運転日報の提出が少ない月を除いて、集計した結果は、ガソリン燃費の目標値11.0km/ℓをクリアしました。

パトロール等に使用する軽ワゴン車を4月に新車に更新した結果、平均燃費が12.3km/ℓから16.3km/ℓに改善した効果が大きく寄与しています。



## 2. 事務所廃棄物削減・リサイクルの促進

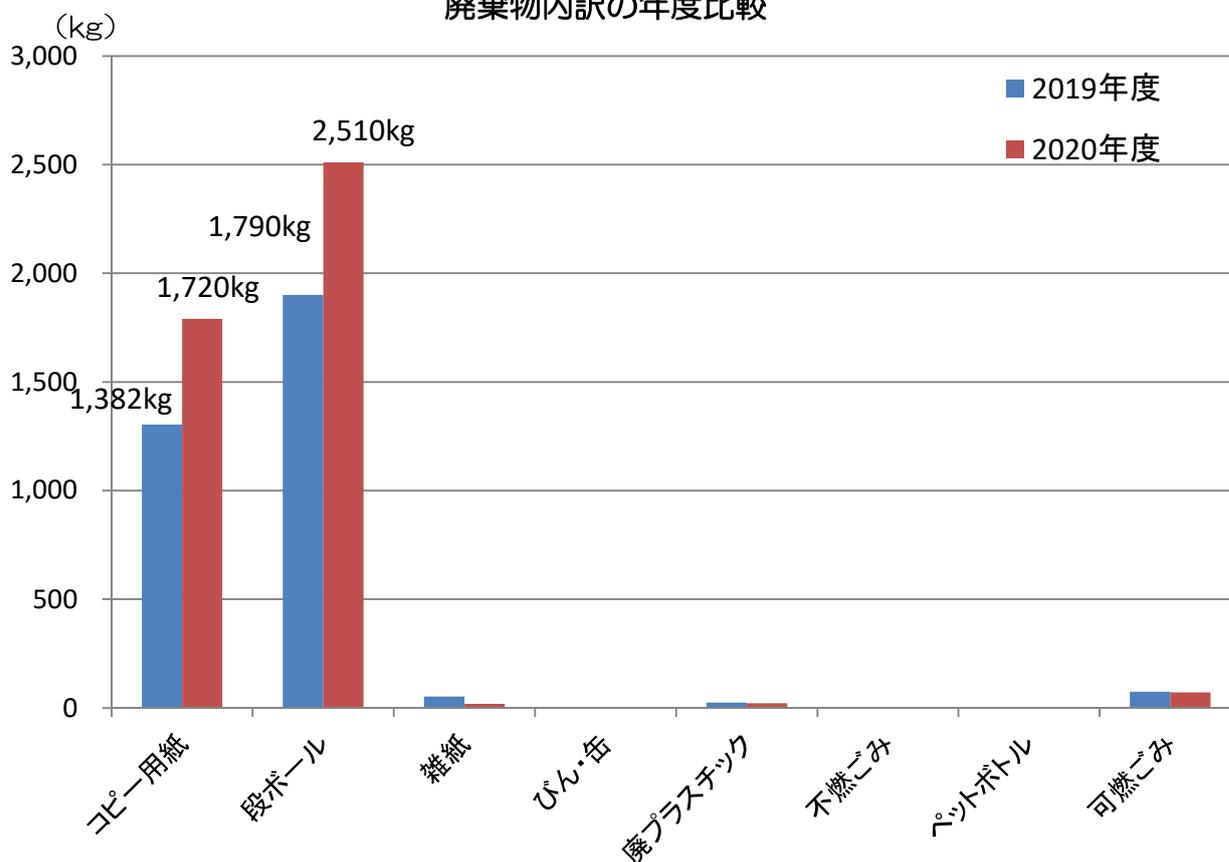
### (1) 分別廃棄の励行

事務所ごみの分別収集に努めていますが、廃棄量は、目標値2,700kgに対し、4,440kgで未達成でした。

内訳で見ると、コピー用紙が1,382kgから1,790kgに30%増加、段ボールが1,720kgから2,510kgに46%増加しました。

40%を占めるコピー用紙は、施工エリアが増えたこと、長期にわたり保管していた書類を廃棄したので増加しました。また、57%を占める段ボールは、LED照明、監視カメラ、柱上携帯局、大型ディスプレイなどの工事が増えことで、大量に梱包材の廃棄が発生しました。このように受注した工事内容により大きく変動するので、引き続き、毎月の廃棄量を把握し、対応方法を検討してまいります。

廃棄物内訳の年度比較



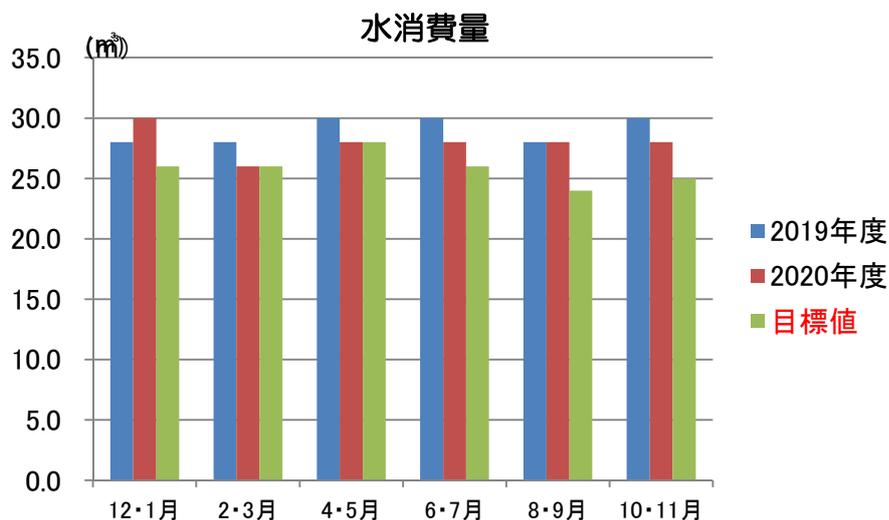
### 3. 水消費量の削減

水を使用する場所は、トイレと給湯・流し台です。

流しの蛇口に「節水」のシールを貼り、注意喚起してありますが、目標値155m<sup>3</sup>に対し、168m<sup>3</sup>で未達成でした。なお、前年度174m<sup>3</sup>を4%下回りました。



節水の注意喚起



### 4. 事務用品のグリーン購入

事務用品は購入額の約80%がグリーン購入適合品です。このうち、63%がコピー用紙で占めています。

特定の紙質が望ましい名刺、USBメモリーなどが非適用品ですが、引き続き、購入の都度、適合の有無を確認してまいります。

### 5. 作業現場の廃棄物削減

#### (1) 飲食ゴミの購入箇所での廃棄励行

現場作業の際、コンビニ、自動販売機等で購入した弁当、ペットボトル等は、購入箇所のゴミ回収ボックスに廃棄しておりました。



駐車場の自動販売機

## (2) 施行要領を遵守した工事残材削減

### ① 通信インフラ作業

作業の際、光ケーブル取付、撤去等は施工要領に従い、不要な残材が発生しないように施工していました。

昇柱での作業



高所作業車での作業



お客さま宅への引込作業



マンホールでの作業



## (2) 施行要領を遵守した工事残材削減

### ② 高圧受電用区分開閉器の取替作業

市立小中学校の高圧受電用区分開閉器の取替作業では、A接地の埋設、新しい開閉器の耐圧試験、制御器の取替、開閉器の取替、掘削部の舗装復旧、動作試験の手順で、適切な資機材の使用をしていました。

#### A接地の埋設



接地棒打ち込み



接地抵抗測定

#### 開閉器の絶縁耐圧試験



#### 制御器の取替



撤去

取付

#### 開閉器の取替



撤去



荷下ろし



取付

#### 舗装の復旧



#### 動作試験



## 6. 資機材の保管環境整備

受注内容に応じ、様々な種類の資機材が入れ替わるため、平積みでの保管では、工事毎に整理することが難しくなったので、棚を設置しました。

これにより、工事毎に資機材を保管し、的確な管理が出来るようになりました。

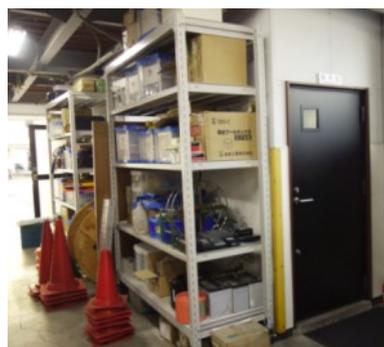
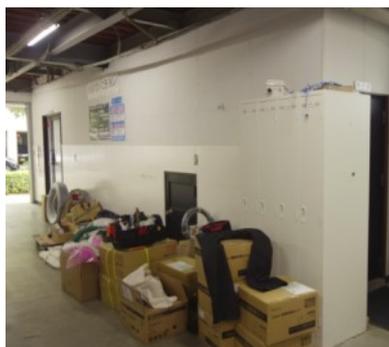
平積みでの保管



棚による保管



棚を設置



## 7. 作業現場の環境への配慮

高圧受電用区分開閉器の取替作業では、A接地埋設部のアスファルト切断に集じん式電動カッターを使用して、粉じんの飛散を防止しました。

集塵式電動カッター



## VII. 環境経営活動の取組結果とその評価、次年度の取組

環境経営目標	活動計画	実施結果	評価	次年度の取組み
二酸化炭素排出量の削減	・排出量の把握	○	電気使用量の増加、ガソリンの減少で、前年度比92%に減少した。	引き続き、毎月の排出量を把握し、燃費改善等の適正化に努める。
電力使用量の削減	・不在・扶養時の消灯、電源OFF ・PCのスリープモード設定 ・空調温度の適正化(冷房:26℃、暖房:20℃)	×	不在・不要時に点灯している際は、気づいた者が消灯しているが、目標値の115%で達成できず。	新型コロナウイルス対策で窓を開けて換気していたので、冷暖房の消費が増加したと理解しており、引き続き、感染対策に努める。
ガソリン燃費の向上	・ふんわりアクセル ・加減速の少ない運転 ・走行経路の適正化 ・駐車時の不要アイドリング削減	○	一部、運転日報の提出が少ない月があったが、目標をクリア出来ている。	運転日報の提出を徹底する。
事務所廃棄物削減・リサイクルの促進	・分別廃棄の励行 ・コピー用紙使用量の削減	×	分別廃棄に努めているが、目標値の164%で達成できず。	廃棄以外に利用可能な梱包材があれば、活用する。
水消費量の削減	・節水の呼びかけ	×	呼びかけをしているが、目標の108%で達成できず。	引き続き、節水を呼びかけるが、コロナウイルス対策として、手洗いは徹底する。
事務用品のグリーン購入	・購入時、グリーン購入法適合の有無確認	○	事務用品購入額の81%がグリーン適合品で占めた。	事務用品購入時は、適合品の有無を確認する。
作業現場の廃棄物削減	・飲食ゴミの購入箇所での廃棄励行 ・施工要領を遵守した工事残材削減	○	パトロール時に確認した。産業廃棄物処理実施要領を制定した。	ルール順守を徹底する。
工具類の適正管理	・現状把握 ・管理範囲の明確化と管理手法 ・管理手法導入・評価	×	現状把握が不十分で、達成できず。倉庫に棚を設置し、資機材の保管環境を整備した。	管理対象を明示し、棚卸を義務付ける。
作業現場の環境への配慮	・作業後の清掃励行	○	パトロール時に確認した。	引き続き、清掃の励行に努める。

## VIII. 環境関連法規等の遵守状況

業務遂行に際し、関連する環境関連の法規制等の遵守状況を確認した結果、適合していることを確認しました。

尚、これらの法規制に対する関係機関からの違反の指摘及び関連する訴訟等は過去3年間ありません。

区分	関連法規制等の名称	遵守状況の確認・評価
大気汚染	フロン排出抑制法	適合
	自動車NOX・PM法	適合
廃棄物	廃棄物処理法	適合
	家電リサイクル法	適合
	自動車リサイクル法	適合
	八王子市下水道条例	適合
	八王子市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例	適合

## IX. 代表者による見直し

2020年度は、新型コロナウイルス感染対策として、窓を開けての換気、外勤者と内勤者の業務エリア区画などにより、感染者の発生を防止しました。引き続き、発生状況を勘案し、感染防止に努めてまいります。

環境経営活動としては、不十分な点があり、特に、次の事項を重点に取り組みます。

①業務における整理・整頓・清掃・清潔・しつけを徹底するため、八王子技術センターの5S活動を活性化させる。具体的には、活動の意識づけとなる5S会議を確実に開催するため、本社が開催日を指定し、本社も参加する。

②工具類の管理を徹底するため、管理対象を明示し、棚卸を義務付ける。

管理対象は、稟議決裁で購入した工具類とする。

また、従来から取り組んでいる、省エネルギー、廃棄物の削減、節水、グリーン購入についても、全員に環境目標を認識させ、目標達成を目指し、引き続き、環境活動計画を着実に実施してまいります。

関連する環境関連法規制については、遵守されていますが、全員が十分理解した上で、業務に従事するように努めます。